

「教育部の働き」

教育部担当執事 木原成記

教育部はおもに教会の子どもたちへの働きの取りまとめや、教会全体の学びの提供をしています。昨年度から子ども・ユース担当として江原美歌子主事も働きをご一緒くださっています。

- **みことばの学び**：「教会学校」は、今年度は上原克也さんが教会学校長を担われ、赤ちゃんからお年寄りまで全年齢層のクラスが、連盟発行の『聖書教育』誌を用いて毎週みことばの学びと分かち合いを中心に共同学習をしています。ハレルヤキッズ (子どもクラス)は、賛美と子どもメッセージと分級活動をしています。毎月第一主日の午後には、「聖書を学ぶ会」として横断的な聖書の学びが開催されています。相模原礼拝では、毎月の斎藤協力牧師の宣教の礼拝後に分かち合いの時間がもたれています。水曜日の祈り会、金曜集会でも『聖書教育』誌を用いて学びと分かち合いが行われています。
- **子どもプログラム**：「子育て学び会」は、以前未就園児を対象に「子ろばの会」として集まっていたましたが、現在は親御さんを対象にオンラインで行なっています。「読み聞かせの会」は再開準備のため、新しい絵本を購入しています。この活動は、約 30 年間続けられています。貸し出しもしていますので、よい絵本、書籍を手にとってご覧ください。「小羊会」は女性会の働きのひとつとして、小学生年齢のこどもたちのための活動をしています。賛美やゲーム、学びを通してイエスさまのことを知っていきます。「成長感謝礼拝」は毎年 11 月に子ども達の成長を感謝し、子ども達へのメッセージと賛美する礼拝を子ども保護者と共にもっています。「子どもクリスマス」は毎年、教会のクリスマスとしては、一番早く開催される子どもを中心とした礼拝とイエス様の誕生を祝う会として定着しています。
- **全年齢層のまじわり**：今年度も 9 月に交わりをテーマに「教会修養会」を開催しました。コロナ禍で集まることが出来ない期間がありましたが、昨年度から再び集まり賛美やゲームをして親交・信仰を深める恵みをいただきました。
- **子どもと共なる礼拝**：子ども達も共に集まって礼拝をお捧げするために、現在は保護者の方々がお子さんと一緒に礼拝を守っています。“見守り奉仕者”も寄り添いながら、今後の必要を検討しているところです。一緒に奉仕してくださる方を募ります。子どもと共なる礼拝は、教育部が掲げ続けているテーマです。「子どものため」ではなく「子どもと共なる」ことで生まれる豊かさを、教育部だけでなく、教会全体で考えていくことができればと願います。
- **「教会図書」**：今年度も“キリスト教本屋大賞”受賞作品など十数点の新刊書籍を購入しました。皆様も各学びの機会にご参加いただき、祈り支えていただけますようお願いいたします。

教会の定例集会

主日礼拝	日曜日	午前 9:00～10:00 (相模原礼拝)
		午前 10:40～12:00 (会堂礼拝)
教会学校	日曜日	午前 9:30～10:20
(嬰兒、幼児、小学生、中高生、		青年、成人、英語、聖書入門の各クラス)
祈り会	水曜日	午後 7:30～9:00
金曜集会	金曜日	午前 10:30～12:00
家庭集会 (相模原)	第二火曜日	午前 10:00～12:00 (竹村家)
(すずかけ台)	第三木曜日	午後 1:30～3:00 (長谷川家)

日本バプテスト相模中央キリスト教会

〒242-0007 大和市中央林間 4-24-6 TEL&FAX 046 (274) 3708

牧師：吉田真司 音楽・子どもユース担当主事：江原美歌子 協力牧師：斎藤剛毅

<http://www.sccc.sakura.ne.jp>